

事業報告書 (令和 2年度)

事業名 未来の教室！「わくわくサイエンス教室」

団体名 一般社団法人日本学びクリエーション 担当者名 眞田 祐子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

日 時: 令和2年9月19日 10:00~11:00
場 所: Earth8ight Universal school
参加対象: 岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む）
人 数: 16人
内 容 等: チラシを御参照ください。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

「未来の教室 わくわくサイエンス教室」を提供することにより子どもたちが、自分たちが未来を担うのだと自覚し、未来、本当に必要な学び続ける力を育む教育を提供することを視点とした活動をしました。今後「GIGA スクール構想」により全自治体が小学校へ1人1台のPCを整備する見通しとなり、動画配信やオンライン授業、AIを使った取り組みなどの新しい教育方法が生み出される中で、自宅でも学びを止めることなく誰一人取り残すことのない充実した学習を実現すべく活動を行いました。新しい時代を生き抜くために必要な学ぶ意欲と学び続ける力を育むためのカリキュラムが持続可能な環境づくりのための教育となるように見直していくよう心掛けて行っています。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

講座を実施後に保護者の皆さんからアンケートを実施したところ、『野外活動をさせたい』という意見が多く、続いて『家庭学習が詰込み型になっている』『学校による教育格差を感じる』という意見が多数ありました。インターネットから教材をダウンロードして学習しようとしても使い方がわからないといった端末の問題をはじめ、動画配信やアプリを使った学習法、ZOOMを使用したオンライン授業等、新しく生まれた学習方法を経験したことがない児童が数多く見受けられ、保護者のITリテラシーレベルによって子どもたちの学習の機会が左右されていることを実感しました。新しい教育方法を知りたいという声が上がった一方、野外活動の要望が数多くあったため、今後はアンケートに基づき野外活動も組み合わせ合わせたプログラムを実施していきたいと考えております。

4. 今後の課題と展望

本活動をだれ一人取り残さないよう届け続けていくことが課題です。岡山の子どもたち一人ひとりに本学びができる機会に恵まれる必要性を切実に感じています。なので、岡山のすべての子どもたちに届けたく、教育関係者・保護者の皆様への周知すること事が課題です。岡山のすべての子どもたちに届けられるよう展望を抱き、次世代を生きる者たちの自己肯定感と学力の向上への貢献の一助となるよう活動していきます。